

当院における透析患者のリハビリテーション

相生リハビリテーションクリニック リハビリテーション科 牧野 健一郎

透析患者のリハビリテーション（以下リハビリ）における当院の工夫と問題点を報告する。近年、透析患者でも運動の重要性が認識され、透析中の運動療法が広まってきており、当院でも PT の指導下で 8 人が行っている。透析中の時間を有効に利用できるが、脳卒中や運動器疾患の合併がある場合には十分な運動療法が行えないため、一般的な疾患別リハビリを透析前後や非透析日に行うようにしており、現在は透析前に 41 人、透析後に 4 人、非透析日に 18 人が行っている。合併症が軽度でフィットネスレベルの向上が目的の場合は透析中の運動療法を、合併症などにより困難な場合は一般的な疾患別リハビリを透析前後に、リハビリの質・量を優先する場合は非透析に行うことで、身体機能の状況や患者ニーズに合わせたリハビリを継続的に行っている。透析前後のリハビリでは透析治療との時間的制約があり、治療の時間帯が集中するなどの問題もある。